

アイヌ デザイン

今受け継がれるアイヌデザイン(アイヌのものづくり)は、北海道で生まれた日本・世界のイコロ(宝・ikor)です。

北海道の樹木や植物など、素材の特性を活かして作られた数々の作品は丈夫で使いやすく、自然への感謝の気持ちを込めた美しさがあります。

多くの作家たちは「暮らしの中に生きるものづくり」をめざし、これまで培われてきた伝統に新たな発想を加えたデザイン(ものづくり)に取り組んでいます。

平取の「イタ」と「アットウシ」が 国の伝統的工芸品に指定されました。

びらとりちょうにぶたに

北海道日高管内、平取町二風谷に伝承されるアイヌ工芸「イタ」と「アットウシ」が国の伝統的工芸品に指定されました。北海道では初めての指定品目であり、「イタ」はアイヌ文様が彫り込まれた木の盆、「アットウシ」はオヒョウ等の樹皮繊維で織られた織物です。



二風谷イタ



二風谷アットウシ